

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【公表番号】特表2002-515660(P2002-515660A)

【公表日】平成14年5月28日(2002.5.28)

【出願番号】特願2000-548933(P2000-548933)

【国際特許分類】

|        |      |           |
|--------|------|-----------|
| H 01 P | 5/02 | (2006.01) |
| H 04 B | 1/18 | (2006.01) |

【F I】

|        |      |         |
|--------|------|---------|
| H 01 P | 5/02 | 6 0 5 E |
| H 01 P | 5/02 | 6 0 5 D |
| H 04 B | 1/18 | A       |

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月17日(2006.4.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アンテナと出力電力ユニットなどの給電ユニットとの間に構成され、前記アンテナの給電インピーダンスと前記給電ユニットの出力インピーダンスとの間のインピーダンス分担の比が3を越え、直列に接続された少なくとも2つの四分の一波長変成器、又はテーパーとされた四分の一波長導体を備えるインピーダンス整合装置であって、

前記直列に接続された少なくとも2つの四分の一波長変成器、又は前記テーパーとされた四分の一波長導体は、値が10を越える誘電率の誘電体材料で形成されるインピーダンス整合装置。

【請求項2】

前記誘電体材料の外壁と内壁は金属化され、前記インピーダンス整合装置の外部導体及び内部導体をそれぞれ構成する請求項1に記載のインピーダンス装置。

【請求項3】

前記外壁と内壁の間の距離を変化させた少なくとも2つの同軸の四分の一波長変成器を有する請求項2に記載のインピーダンス整合装置。

【請求項4】

前記内部導体が空洞になっている請求項2又は3に記載のインピーダンス整合装置。

【請求項5】

前記四分の一波長変成器のそれぞれ新たな段ごとに前記内部導体の半径を変化させる請求項2乃至4のいずれか1項に記載のインピーダンス整合装置。

【請求項6】

前記内部導体が空洞になっており、上記変成器の各段の間が一定した連続の遷移になっており、かつ一段の半径が連続して変化している請求項2に記載のインピーダンス整合装置。

【請求項7】

前記インピーダンス整合装置は、アンテナと一体化され前記アンテナユニットを形成する請求項1乃至6のいずれか1項に記載のインピーダンス整合装置。

【請求項8】

請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載のインピーダンス整合装置を備える無線信用装置。